



Bulletin

# The Lions Times



ザ・ライオンタイムズ  
 (335-C地区機関紙)  
 発行日●2008年1月1日  
 発行者●ガバナー 須藤眞志  
 発行●ライオンズクラブ国際  
 協会335-C地区PR・  
 情報・IT委員会  
 編集者●地区PR・情報・IT委員長  
 黒川良三(京都とさわLC)

District 335-C

事務局●〒600-8237 京都市下京区堀川通塩小路 リーガロイヤルホテル京都3F 364号室  
 TEL.(075)344-0258 FAX.(075)344-0277

●インターネットホームページ <http://www.335c.com/>  
 ●Eメールアドレス [lions@skyblue.ocn.ne.jp](mailto:lions@skyblue.ocn.ne.jp)

## 明けましておめでとうございます。 本年もよろしくお願いいたします。

335-C地区ガバナー 須藤 眞志

早いもので私がガバナーを引き受けてから半年が過ぎました。出発当初は果たして最後まで任期がまっとうできるかどうか正直言っ

て不安でありましたが、最近ではなんとか無事に終えられるような自信もできてまいりました。それもひとえに各クラブのメンバー各位のご協力と寛容なお気持ちの結果と深く感謝いたしております。公式訪問で各地をお訪ね

いたしましたが、どこでも温かく歓迎してくださり、楽しく公式行事を終えることができました。本当に有難うございました。ご協力くださったこと心より感謝申し上げます。

ライオンズクラブは日本のみならず世界的でも、残念なことに近年会員の減少が顕著であり、世界のメンバーはかつて140万人を超過していたのが現在は130万人を切る状態になっております。とくにライオンズ発祥の地であるアメリカでの退潮が顕著であります。

私たちの335-C地区でも最盛期には7千名を越していたのが現在は4千5百名です。ライオンズクラブが奉仕団体として大きな力を発揮してきたのは、2000を超す国や地域にまたがってクラブが存在し、豊富な資金力をもって奉仕活動を行ってきたからです。それゆえメンバーが減少すればそれだけ力が衰え影響力も小さくなることは当然であります。その結果ライオンズクラブ本来の活動が出来なくなるとし

まい、ライオンズクラブの助力に期待している多くの人々を裏切る事となります。世界にはライオンズクラブの奉仕を必要としている多くの人々がいることを忘れてはいけません。

ライオンズクラブが存在しているにもかかわらず、自分たちにとってはなんら困ることはないと発言した方がいます。ライオンズクラブで生計を立てているメンバーはいないのだから、個人にとつては確かにそうかもしれない。しかし、ライオンズクラブの奉仕活動によって失明から逃れることが出来た何千何万もの人たちがおり、また今もトラコーマや河川症によって失明の危険にさらされている多くの子供たちがアフリカや中南米にいます。彼らにライオンズクラブの助力を待っており、ライオンズクラブの存在を何よりも必要としているのである。そのためにもライオンズクラブは力をつけなければなりません。

アマラスリヤ国際会長は現状を憂いて、今年度「チーム20K」構想をうちだした。これは今年度中に世界で2万人のメンバーを純増しようというのである。日本には3千名から4千名近い数字が期待されています。これにに応じて私も公式訪問等で、335-C地区でも今年の6月末までに百名以上の純増をお願いしてきている。現在のところ順調に増加してきているので、このままの傾向が続けば何とか目標値には近づくとおもわれますが、一抹の不安はあります。

今後ともメンバー各位に一段のご努力を心よりお願いいたします。この半年間の率直な感想は、数多くのメンバーの中には実に多様な考え方があり、ライオンズクラブにたいしても様々な異なった思いを抱いておられることを知ったということでもあります。メンバーの多くは自分の家に戻ればそれぞれ皆一國一城の主であり、自分の意思でほとんどの事を決定できる立場におられます。ライオンズクラブはそれらの方々の集合体なのであるから、全員の意見をすべて集約することは不可能です。それでもわがままをあまり言わず、多くの面で協力的な方々が多くおられることも新たな発見であり、ライオンズクラブの将来に大きな希望を持てました。気に入らないことがあるとすぐにクラブを退会すると言う方がおられると聞くことがあり、健康や経済的な理由で退会されていく方々がある程度おられるのはしかたがないことであるが、クラブの方針やアクティビティのあり方をめぐる意見の対立は十分に論議し、できるだけ民主的なやりかたで解決していただきたい。また、是非とも身近なことがらばかりに気をとられずに、クラブは異なっても日本のみならず世界のライオンは皆等しく同じ志をもつて同じバッジをつけて集まっていることを自覚して行動してくださることをお願いいたします。

2007年11月2日  
 付、政府発表の秋の褒章受章者に、335-C地区3R1Z京都平



335-C地区  
 3R1Z  
 京都平安LC  
**▲矢口 雅彦**  
 安ライオンズクラブのL矢口雅彦が藍綬褒章を受章されました。

「投票しなくても、罰則があるわけではない。けれど、国民として、いい政治をつくりだすのは義務だ。そのために、必ず投票に行ってください」。協議会の委員となつてから25年で、府内各地で続けてきた講演は150回にも上る。

「もつと学生の投票率を上げたい」。熱意は衰えない。(京都新聞抜粋)



335-C地区  
 ガバナー  
 京都府明るい選挙推進協議会副会長  
**▲須藤 眞志**  
 に耳を傾けることにも力を入れてきた。期日前投票制度の導入と、投票時間の2時間延長は「協議会として、国に意見を伝えてきたのも大きい」と語る。

秋の褒章  
 おめでとう！  
 ありがとうございます！  
**ガバナー 藍綬褒章を受章**

# Y.E. 夏期来日学生レポート

## エブリデイ・サイトシオン

Trevor Breankwitz

- 第一ホストファミリー…原田 稔 L
- 第二ホストファミリー…法雲 俊邑 L
- 第三ホストファミリー…徳谷 仁様
- ホスト…京都京洛 L C
- ホスト…長浜 L C
- ホスト…長浜 L C
- ホスト…長浜 L C

私は7月7日に日本に来て24日まで京都にある原田さんのお宅に滞在しました。その間は色々なことをしました。私が初めて訪れた寺は清水寺です。それはすばらしい所で、見るのが出来ました。家から初めて参加したライオンズのミーティングは京都ライオンズクラブで、そこで私は初めてのスピーチをしました。私は何箇所かの所へ買い物に行き、家の両親へのたくさんのお土産を買いました。またホストファミリーはボウリングやカラオケにも連れて行ってくれました。そこで私は大変楽しみました。またホストシスターと彼女の夫が私を大阪城に連れて行って、楽しい経験でした。

私のお気に入りの経験は原田さん一家が京都映画村に連れて行ってくれて、そこで私は侍のコスプレを楽しんだことです。またホストファミリーやライオンズのみならず、3人のYE学生たちと一緒に祇園祭を見てそこで昼食も楽しみました。他の日には、ホストマザーとホストシスターが金閣寺に連れて行ってくれました。二条城や二の丸はきれいで興味深かったです。22日には京都のフリーマーケットに行き、次の日には他のYE学生さんたちと着物博物館に行き

きました。ボウリングにも行き寺院や精進料理をライオンズの方々と楽しみました。25日にはガパナのパーティーに参加し、そこで私は原田さんのお宅から法雲さんのお宅に移りました。法雲さんと安田さんは京都の一番古い日本庭園と寺院に連れて行ってくれました。法雲さんのお宅は伊吹山の近くに位置していました。ホストブラザーと彦根城に行きグラツェルで食事をしました。次の日は安田さんや他のYE学生とともに広島に行き、昼食後、広島ライオンズの方々と広島博物館にも行き、そこで爆弾についてたくさん学びました。安田さんは私を大変よく世話してくださりました。また法雲さんご一家は忍者屋敷に連れて行ってくださいました。29日には法雲さんのお宅で歓迎会をしていただきました。30日にはYE学生と京都で日本料理について学び、私たちの食事を作りました。日本のお茶や生け花についても学ぶ機会がありました。31日には名古屋城に行き豊田博物館に行きました。それらは私にとって興味深く意味あるものでした。

8月1日には長浜のライオンズクラブのパーティーにチャンヤールとともに参加し、そこでスピーチと夕食をとりました。その後億谷家に移り、次の日ゴルフに行き



3日にはホストブラザーとともに彼の高校に行きました。大変楽しかったです。その日の午後はライオンズのメンバーのメンバのお宅に訪問し、本物の侍の刀を見せていただきました。4日にはホストファミリーとライオンズメンバーの方々と、そしてチャンヤールと伊吹山に登りました。その後安田さんのお宅の近くの体育館でピンポン、バドミントン、バスケットボールをしました。その後ライオンズのみなさんとパーベキューに行き、とてもおいしかったです。

5日には関ヶ原の博物館に行き、その夜長浜の花火にチャンヤールと大岡さんと尚仁と行きました。大変きれいでした。次の日には尚仁とU.S.J.に行きそれは大変楽しい時間を過ごすことができました。尚仁と尚仁の友達とボウリングに行くこともできました。このようにして私は3家族とともに大変楽しく過ごしました。家族にメールを送りコンタクトをとることができました。たくさんバナナやバッジをライオンズクラブから頂き、それらに大変感謝しています。また私のホストファミリーの方々にも大変よく世話をしていただいたことに感謝しています。カリフォルニアのトレーシーライオンズクラブは私の日本での経験を感謝しそれらを忘れること

はないでしょう。

## 初めての十二単

レミック・パルマー (カナダ)

Remick Palmer

- ホストファミリー…佐原 勲 L
- ホスト…宇治 L C

はじめにカルガリーのYEのコーディーネーターが言ったことは「日本人はとても礼儀正しくて親切です。」

このことは私にとってはじめて聞くことではありません。というのも私も自身が既に2年間日本語学校に通って学んでいたからです。たぶん最初に、どの西洋人も日本人とは小奇麗で寛大で、親切だ、と感じると思います。



大きな国のアメリカやカナダもついていないとも古くからの歴史と文化が備わっています。其々に点在する国の淵からにじみ出ていく文化が整理され組み立てられ淘汰された様な文化のなかで、今現在の日本の文化は自然に暮らしておられるのです。

サンフランシスコから日本に向けた飛行機でははじめにそのことを確信しました。偶然にも京都に帰る日本人男性の隣の席になったのです。私はテレフォンカードの買い方を尋ねました。するとその方は自分の使いかけのカードがあるからと、それを私に下さいました。お支払いを、と言ったのですが受け取ってもらえず、さらに関空に降りてからもずっとその方がサポートして下さいました。そして、ゲートでお別れすると、そこにはホストファミリーがまっついてくれました。これが日本についてはじめに出会った日本人との感覚でした。

車での迎えに、車窓から眺める景色は少し熱帯の木々のように見え山も低いと感じました。ただひとつ、残念だったのは、私のステイは夏の間。さくらの季節ではなかったこと。近い将来、その季節にもう一度来ようと思っております。しかし、日本の夏は非常に暑いです。

北アメリカにもお城はありませんし、カナダは若い国で歴史も文化もそんなに古くありません。この小さい島の、小さい国には、大きな国のアメリカやカナダもついていないとも古くからの歴史と文化が備わっています。其々に点在する国の淵からにじみ出ていく文化が整理され組み立てられ淘汰された様な文化のなかで、今現在の日本の文化は自然に暮らしておられるのです。

私にとっては息を呑むようなワクワクすることです。私がよく聞かれることで、「日本の文化は、あなたがカルガリーにいたときのイメージとは、どう違いますか?」私は返答に困りました。私にとって日本は私が望んでいたとおりだったからです。日本に来る外国人は「日本人はあまり受け入れてくれない」と不足をいいますが、私は決してその意見には追随できません。私はこの国で出会った全て、受け入れられないものは見当たりませんでした。

日本の音楽、映画、アニメ、そして日本そのもの、みな普通に受け入れられました。不足の意見を持つ人も私も容易に受け入れられるのはウインドーショッピングでしょうか。でもいずれにしても訪れる人々は日本が好きです。

この国でお会いした方々は大変良くしてくれました。佐原さん一家はとても気遣ってくれました。勤お父さんは大きなジェスチャーで、一生懸命、英語を使ってコミュニケーションをとってくれました。私のお父さんに似ていました。友美お母さんは、

# 地震でカルチャーショー

## テレサ・ハツキ(フィンランド)

Teresa Hakki

第一ホストファミリィ...西田有一郎  
第二ホストファミリィ...増田 優一

ホスト...京都洛陽LC  
ホスト...ホスト京都ロイヤルLC

私は日本に着いて、第一ホストファミリィの西田家に迎えにきてもらい、京都の中心部にある家まで車で来ました。

日本での一番のカルチャーショーは地震でした。

3日目、私とアヤカは茶道のレッスンに行きました。私は2回茶道のレッスンに行きましたが、その内の1回はY.E留学生と一緒に習いました。私は茶道が大好きです。それは精神的に落ち着ける場所だからです。お茶は少し難しいですが、大変興味があります。

7/15 金閣寺に行きました。私は金閣寺を初めて見て、そのすばらしさに息をのんでしまいました。その日は祇園祭が始まる1日前だったので、山鉾を見に行きました。

7/17 この日は祇園祭で、Y.E留学生皆に見に行きました。浴衣を着ました。  
7/19 今日のスケジュールは少ししんどかったですが、清水寺に行き、京都の古い町並みを歩き、カラオケに行きました。私は初めてカラオケで歌いました。そんなに上手には歌えませんが、とても楽しめました。

7/21 私とアヤカは新しいハリ・ポッターの映画を見に行きました。その後フィンランドの喫茶店に行きました。私は京都にそれが驚きました。母

7/23 この日は他の日よりとても暑かったです。Y.E学生と着物ミュージアムに行つて、ポウリングをし、素晴らしいお寺にも行きました。

7/25 今日Y.E留学生歓迎会の後、第二ホストファミリィの増田家に移りました。でも全然寂しくありませんでした。家は宝ヶ池の近くで、池の周りを散歩しました。宝ヶ池は景色もきれいでとても気に入りました。

7/27 この日はY.E留学生と新幹線で広島に行き、平和記念公園を見学しました。広島は原爆戦争の歴史を見学し大変心が痛みました。原爆はもちろん、戦争は絶対反対です。

7/28 私はガーデニングが好きなので、この日、増田ファミリィに比叡山のガーデンミュージアムに連れて行ってもらいました。日本一の琵琶湖も見学でき良い思い出になりました。  
7/29 この日は家族と浴衣を着て宝ヶ池花火大会を、国際会議館の庭から見ました。今までの花火が一番印象に残っています。国際会議館のイ

ベントに参加しながら家族と楽しく過ごしました。  
7/30 この日はY.E学生と一緒に行動しました。初めに日本料理を作つて、3度目の茶道のレッスンをしてから、華道を体験しました。  
8/1 今日家族の紗友美と陶芸をしました。家の近所の陶芸教室に行きました。続きを来週の火曜にします。  
8/2 この日、人生でたった一度の経験をしました。祇園で舞妓さんの着付(舞妓変身)をしてみました。  
8/3 今日ホストライオンズクラブの例会で、家族や他のライオンズメンバーの家族と楽しい時間を過ごしました。日本の和太鼓を初めて体験しました。そして私は初めてフラダンスを踊りました。日本のダンスではありませんでしたが、楽しかったです。  
8/4 この日はたくさん歩いてとても疲れましたが、世界遺産で、龍安寺の有名な石庭や、仁和寺、天龍寺、嵐山を見学しました。仁和寺は私の中でトップ3に入ります。夕食は焼鳥屋に食べに行きました。その後紗友美がとても面白い雑貨屋を教えてくださいました。とても面白い物がいっぱいあって、時間を忘れていました。  
私は家族とのたくさん思い出を作ることができて、とても嬉しく思っています。  
ライオンズクラブの皆さん、ホストファミリィの皆さん、ありがとうございました。



私を理解してくれて何か起こったときはよく助けてくれ、私の日本語が旨く浮かない時は直ぐに英語で会話を繋げてくれました。それはとても自然に楽しく親切にしてくれて私の実際の母のようでした。私には弟がいますが、いつも妹が欲しいと思っていました。それをかなえてくれたのが立子ちゃんでした。  
私の知っている限りでは日本人は話し合いが得意ではない。でも意思疎通のレベルが上がれば必ずしも言葉は重要ではない。笑った、見たことを集積して考えていくほうが世界中のどんな言葉よりも大切だと思います。  
私は範康さんと話す機会があまりありませんでした。どうぞ、アメリカでは素敵なホームステイを味わえるよう願っています。アイ子お婆さんも、はじめに会ったときからいつも親切にしてくれました。私が行ったすべての場所のお土産や写真、そして思い出の場所に持って帰ります。いろいろなところでお会いした方々にはもう会えないとは思いますが、ほんのひと時の出会いが私に与えた素敵な印象は私の生涯が終わるまで忘れません。  
私はこの旅行をとっても期待して数ヶ月を待ちました。そしてもう既に来年の旅を計画しています。出発する前に私がこのことを祖母に話したら率直に注意されました。「あなたは何も知らないのよ、きつとあなた帰らなくなるわ」。その注意は自然に、半分冗談で言われたのですが、心配ご無用でした。  
その期されたお触れに反して帰りたいと思ったことは全くありませんでした。日本は私をがっかりさせることなくありませんでした。それどころか日本で出会った全てが私が望んで期待していた10倍のものでしたのです。私はまだ来年の旅の計画を考えています。いつか将来、私は日本に住みたいのです。そしてそう遠くない将来に事前に考えていることが目の目を見るという事だと思っています。皆様そして全ての出会いに感謝します。  
この旅行は私にとって計り知れないほど貴重なものとなりました。この多くの思い出は私の心が止まるまで止まるまでずっと共にあるでしょう。そして永遠に感謝します。

# 日本での思い出

## チャン・ヤー・ユー(台湾)

第一ホストファミリィ...陳 修身  
第二ホストファミリィ...大岡 義博

ホスト...京都洛陽LC  
ホスト...長浜LC

日本にいた間、私は本当に幸せでした。私は、二軒のホストファミリィにお世話になりました。一軒目は、中華レストランを営む陳さんファミリィでした。陳さんの家族は皆、親しみやすくとても親切でした。家族全員が私を気遣ってくれました。陳さんはお寺や神社、京都植物園など色々な場所に連れて行ってくれました。私はそれらを忘れておもしろかったです。特に、みたらし祭りがおもしろかったです。私の二軒目のホスト先は大



来たいです。そして、皆さんも機会があれば、是非台湾にお越し下さい。あなた方を心から歓迎します。本当に、有り難うございました。

# 東京タワー・京都タワー

## マリオ・ヴィニエリ (イタリヤ)

Mario Vinieri

第一ホストファミリィ…北岡 宜哲様  
第二ホストファミリィ…小西 秀樹様

ホスト…田原本LC  
ホスト…京都洛陽LC

私が日本に来てから約一ヶ月が過ぎましたが、毎日充実した日々を送りました。

まず、奈良では東大寺大仏殿に行きました。大仏のあまりの大きさに感動しました。また、奈良では、お好み焼きを初めて食べました。お好み焼きはとてもおいしく、今では私のお気に入りの日本食です。それから、大阪城に行きました。そこでは、居合いの稽古を見ました。私が居合いの稽古を見たのはそれが初めてで、その様子はとても興味深いものでした。武術をするのに、そんなにたくさん決めりごとがあるなんて全く知りませんでした、また、第一ホストファミリィの息子さんが東京に住んでいらつしやるということ、東京にも訪れました。東京では、秋葉原に連れて行ってもらいました。秋葉原では、ビデオゲームや漫画、アニメなど色んなものを見ましたが、そのどれもに興味を持ちました。ただ、とても値段が高かったです。その後、明治神宮を訪れるために原宿へ行きました。明治神宮はとても素晴らしかったです。夜には、名前は忘れてしまいましたが、映画「KILL BILL」で使われた新宿のきれいなレストランに連れて行ってもらいました。また、東京タワーにも登りました。東京タワーからは東京全体が一望

他の日には、京都タワーにも登りました。京都タワーからは京都市が一望できました。また、龍安寺では、とても有名な庭を見ました。それは私にとってはとても奇妙で、不思議なものでしたが、だからこそ美しいのだろーと思えました。

8月14日には、太秦の映画村に行きました。そこでは、日本の時代劇などで使われたセットをたくさん見ることができました。そして、日本の古い時代のショーを見ましたが、私にとってそれは本当に面白いものでした。また、京都では、何度行ったか自分でもわからないくらい日本のサウナに通いました。私にとって日本のサウナはとても心地よく、リラククスできるのでも気に入りました。

最後に、日本で過ごした時間はとても楽しいものでした。私に親切にしてくださいましたホストファミリィの方々や彼らの友達とお別れするのはとても悲しいです。そして、この美しい国ともうお別れだと思つとも悲しいです。日本は私の国イタリアとは全く違いましたが、とても興味深い国でした。一ヶ月の間日本に滞在する機会を与えてくださったライオンズクラブに本当に感謝しています。

「ARIGATO GOZAIMASHI」。今からそう遠くない将来に、ぜひもう一度日本に来たいと思います。



「ARIGATO GOZAIMASHI」。今からそう遠くない将来に、ぜひもう一度日本に来たいと思います。

「ARIGATO GOZAIMASHI」。今からそう遠くない将来に、ぜひもう一度日本に来たいと思います。

「ARIGATO GOZAIMASHI」。今からそう遠くない将来に、ぜひもう一度日本に来たいと思います。

# ラブ・スパイシー

## エブリン・リマンジャヤ (インドネシア)

Evelyn Limanjaya

第一ホストファミリィ…高橋 信也様  
第二ホストファミリィ…津村 千恵様

ホスト…京都淀LC  
ホスト…京都薫風LC

私はエブリン・リマンジャヤ、インドネシアの17歳の女の子です。最初は初めての国で知らない人と過ごすことにとても不安でしたが、皆さんがとても親切にしてくださいるので、すぐにほっとしました。私は京都に滞在していましたが、とても美しい街だと思いました。他のYE生達とも生け花や茶道、日本料理教室、ボウリング、広島訪問などを一緒に楽しみました。

日本では私の日常の生活とは大きく違う、とても興味深いこと、例えばコンビニ、お祭り、浴衣、食べ物、住宅、交通、伝統などをたくさんみつけました。日本人の礼儀正しさと街の清潔さ、そして穏やかな車の運転の仕方が印象に残りました。浴衣をプレゼントされたときは本当にうれしかったのですが、日本の物価は高いので、インドネシアの通貨に換算して驚きました。「これを買うには私はどれだけの間貯金しなくてはいけないのだろうか？」

インドネシアではスパイシーで辛い食べ物大好きですが日本では探するのが大変です。マク

カレーレストランに連れて行ってくれて一番辛いカレーを私のために頼んでくれた時も、皆は辛すぎて食べられないだろうと思つたらいいのですが、私には物足りずチリソースを足していました。皆本当にびっくりしてました。はじめてトイレを使用したときはボタンが多くて漢字で書いてあるので迷いました。インドネシアではひとつのボタンしかないので「もし間違つたボタンを押しちゃつたらどうなるんだらう?」。一度「音」のボタンを押してしまつたときは止むまで待つのがとても長く感じられ、慌てました。まんがミュージアムで、まんがの描き方ワークショップに参加したのも楽しい経験でした。日本では皆さんが「カワイイ」と言ってくれましたが本当かな? 日本でのことを思い出すが自然と笑みがこぼれ、「大好きな日本にもう一度行く(留学する)ためについて勉強しなくちゃ!」と思つています。このYEプログラムを通じて私には目標ができました。日本を体験するために貴重な機会でしたし、私は幸運だったと思つています。日本の私のホストファミリィとライオンズクラブに感謝申し上げます。皆さんは私の日本滞在をとても大きな私の宝物にしてくださいました。



カレーレストランに連れて行ってくれて一番辛いカレーを私のために頼んでくれた時も、皆は辛すぎて食べられないだろうと思つたらいいのですが、私には物足りずチリソースを足していました。皆本当にびっくりしてました。はじめてトイレを使用したときはボタンが多くて漢字で書いてあるので迷いました。インドネシアではひとつのボタンしかないので「もし間違つたボタンを押しちゃつたらどうなるんだらう?」。一度「音」のボタンを押してしまつたときは止むまで待つのがとても長く感じられ、慌てました。まんがミュージアムで、まんがの描き方ワークショップに参加したのも楽しい経験でした。日本では皆さんが「カワイイ」と言ってくれましたが本当かな? 日本でのことを思い出すが自然と笑みがこぼれ、「大好きな日本にもう一度行く(留学する)ためについて勉強しなくちゃ!」と思つています。このYEプログラムを通じて私には目標ができました。日本を体験するために貴重な機会でしたし、私は幸運だったと思つています。日本の私のホストファミリィとライオンズクラブに感謝申し上げます。皆さんは私の日本滞在をとても大きな私の宝物にしてくださいました。



カレーレストランに連れて行ってくれて一番辛いカレーを私のために頼んでくれた時も、皆は辛すぎて食べられないだろうと思つたらいいのですが、私には物足りずチリソースを足していました。皆本当にびっくりしてました。はじめてトイレを使用したときはボタンが多くて漢字で書いてあるので迷いました。インドネシアではひとつのボタンしかないので「もし間違つたボタンを押しちゃつたらどうなるんだらう?」。一度「音」のボタンを押してしまつたときは止むまで待つのがとても長く感じられ、慌てました。まんがミュージアムで、まんがの描き方ワークショップに参加したのも楽しい経験でした。日本では皆さんが「カワイイ」と言ってくれましたが本当かな? 日本でのことを思い出すが自然と笑みがこぼれ、「大好きな日本にもう一度行く(留学する)ためについて勉強しなくちゃ!」と思つています。このYEプログラムを通じて私には目標ができました。日本を体験するために貴重な機会でしたし、私は幸運だったと思つています。日本の私のホストファミリィとライオンズクラブに感謝申し上げます。皆さんは私の日本滞在をとても大きな私の宝物にしてくださいました。

# YE夏期来日学生レポート

# 第20回 国際平和ポスターコンテスト

ライオンズクラブ国際協会335-C地区(京都・滋賀・奈良)入賞作品



上柿 雪恵様  
綾部市立綾部小学校6年

最優秀作品 地区ガバナー賞

最優秀作品 地区ガバナー賞



稲葉 一将様  
宇治市立笠取小学校5年



西保 太貴様  
京丹波町立松山小学校6年

最優秀作品 地区ガバナー賞

優秀作品 地区会計賞



津田 康太郎様  
京都市立西陣中央小学校6年

優秀作品 地区幹事賞



板谷 玲奈様  
京都市立衣笠小学校6年



植村 宥勝様  
木津川市立当尾小学校6年

優秀作品 副地区ガバナー賞



西沢 英里様  
長浜市立長浜西中学校1年

佐藤 淑賀様  
田原本町立東小学校6年



立石 真稀子様  
京都市立立岩倉南小学校5年



優秀作品 リジョン・チエアパーソン賞



倉田 梨紗子様  
桜井市立城島小学校6年



大林 滉平様  
甲賀市立大原小学校6年



岸本 淑乃様  
京都市立待鳳小学校6年

西村 僚之佑様  
京都市立二条城北小学校6年



大嶋 ひで香様  
京丹波町立松山小学校6年



小田 奏様  
京都市立下鴨小学校6年

優良作品 ゴールデン・チエーパーソン賞



加藤 秀佳様  
京都市立御室小学校 5年



山本 桃世様  
橿原市立畝傍中学校 1年



松本 菜央様  
京都市立山ノ内小学校 6年



西本 真奈様  
京都市立新町小学校 6年



柴原 里緒菜様  
城陽市立久世小学校 6年



塩谷 真由様  
長浜市立長浜北中学校 1年



大森 隆哉様  
向日市立第三向阳小学校 6年



北村 葵様  
京田辺市立普賢寺小学校 6年



西田 衣李様  
京都市立祥豊小学校 6年



岩本 沙也様  
京都市立嵯峨野小学校 5年



小西 瑞希様  
長浜市立長浜小学校 6年



三木 杏珠様  
京都市立七条小学校 6年



伊谷 夏綺様  
五條市立智智小学校 6年



笠原 仁実様  
京都市立室町小学校 6年



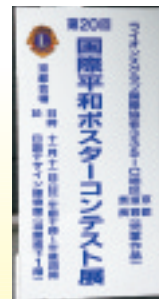
新垣 弥希様  
斑鳩町立斑鳩小学校 6年

国際平和ポスターコンテスト 展示 in 京都

11月11日

国際平和ポスターコンテスト展示が京都会場（みやこメッセB F日国会館）で開催された。当日は、素晴らしい秋晴れの中、ガバナー須藤眞志はじめ多くのご来賓を迎え、地区PR・情報・IT委員長黒川良三の進行により、須藤眞志ガバナーにご挨拶を戴きました。その後審査委員長高谷信夫に審査講評と感想を戴き、定刻10:00にご来賓にご参加を賜り、テープカットでのオープニングとなった。午後4時までの開催であったが入場者がたえる事なく1000名以上の来場者で終了した。次回は、滋賀会場、奈良会場に移動して展示開催を行って行く予定です。

PR・情報・IT委員会

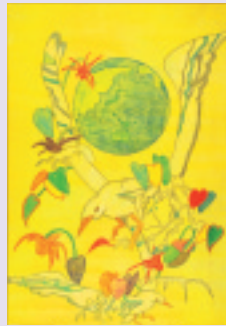




井野 菜央子様  
甲賀市立油日小学校 6年



川端 祥平様  
京都市立向島小学校 6年



増田 健也様  
桜井市立朝倉小学校 6年



平藤 美紀子様  
大津市立晴嵐小学校 6年



安田 貴博様  
京都市立東山小学校 5年



寺澤 摩美様  
竜王町立竜王西小学校 5年



優良作品 地区PR・情報・IT委員長賞



百々 朝花様  
竜王町立竜王小学校 6年



高林 千愛子様  
京都市立正親小学校 6年



仲村 京様  
京都市立市原野小学校 6年

優良作品 努力賞



池谷 好花様  
野洲市立祇王小学校 5年



筒泉 佳菜子様  
京都市立桃山東小学校 6年



瀬戸 拓也様  
多賀町立大滝小学校 6年



川辺 千穂様  
田原本町立南小学校 6年



奥村 誠康様  
京都府立桃山養護学校中学 1年



上垣内 杏織様  
京田辺市立松井ヶ丘小学校 5年

国際平和ポスターコンテスト  
展示 in 滋賀

滋賀展示会は11月17日(土)、彦根市竹ヶ鼻町の「ビバシティ彦根」において開催されました。

午前10時半、黒川良三委員長の開式の挨拶の後、主催者を代表して橋本隆夫副地区ガバナーの挨拶があり、以上のお2人に加えて、林孝治地区幹事、6・R・RCL松田宗章そして地元彦根市3クラブの代表、彦根LC会長L樋口久雄、彦根金亀LC会長L角田隆、彦根みずほLC第一副会長L高橋作司の計7名によるテープカットで開会しました。

滋賀会場では、地区優秀作品60点と滋賀県からの応募作品87点の計147点が展示されました。

併設されている大型商業施設であり、土曜日ということもあって関係者以外の多数の市民も訪れ、推定2000名の方々が展示作品を熱心に鑑賞していました。カメラやビデオを構える親子連れが圧倒的に多く、中には展示作品を隈なく撮影している父親と思える男性の姿が印象的でした。

片付け作業中にも次々と作品該当者が来場し、「私のポスター何処ですか」と尋ねられては、バタバタと作品を探し、あらためてポードに展示して記念写真を撮影することが再々あったことは嬉しいハプニングでした。



優良作品 努力賞



辻本 絢香様  
大津市立晴風小学校 6年



郷 千奈美様  
京都市立稲荷小学校 6年



東山 美智様  
京都市立紫竹小学校 5年



磯山 壮太様  
木津川市立木津川台小学校 6年

藤田 亜也様  
大和郡山立郡山南小学校 5年



富田 光貴様  
京都市立市原野小学校 6年

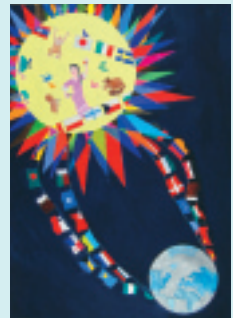


竹田 愛様  
奈良育英小学校 6年

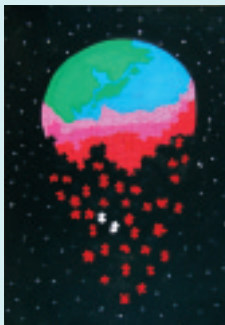


山田 秀美様  
大和郡山立郡山北小学校 6年

江上 留奈様  
京都市立大塚小学校 6年



溝入 千夏様  
京都市立新町小学校 6年



柴田 樹里様  
城陽市立深谷小学校 6年



大橋 果歩様  
桜井市立桜井南小学校 6年



高倉 梓未様  
彦根市立城陽小学校 6年



吉川 久美子様  
大和高田市立高田小学校 6年

国際平和ポスターコンテスト  
展示 in 奈良

第20回国際平和ポスターコンテスト展示会(奈良会場)

が大和高田市にある奈良県地産業振興センターにて催された。

11月23日(祝)、10時より3時35分

C地区スタッフや各地区役員の参加を受け開会式が行われ、前日より我がメンバーによって準備された会場には、子供たちによって描かれた

様々な発想による数々の力作が展示され、多くの親子連れで賑わいました。わずか1日の展示ではありましたが、皆さんが、少しでも世界平和について考えていただけたのではないかと思います。

天気にも恵まれ、皆さんのおかげで無事終えることが出来ました。

大和高田ライオンズクラブ

広報委員長 吉井 正人





# Y.E.夏期派遣学生帰国レポート

## アメリカでの生活

佐原 範靖

スポンサークラブ：宇治LC  
派遣先：アメリカ

僕は7月22日から8月26日までカリフォルニア州に滞在しました。22日、期待と興奮を胸に伊丹空港へ。

そこで関西地区から派遣される他の派遣生達と合流しました。やはり皆最初は緊張しており、なかなか打ち解けられませんでした。そして日本全国の派遣生が集まる成田空港へ。ついからは少し時間があつたのでみんなでご飯を食べました。そして集合場所へ行く

と何人か集まっていたのですが、やはり何かきまきまの雰囲気でした。全員集合していきロサンゼルス空港へ。到着してから気付いたのですが同じ飛行機に叶姉妹が同乗しており、皆その話題で打ち解けました。そんな感じだったのでからはすぐにバスに乗り、最初の1週間を過ごすキャンプ場へ。しかしバスは何度も同じ道を行ったり来たり、そしてバス会社にもどりのバスにうつされました。最初にのったバスはエンジンの調子が悪かったみたいです。そして2日目。しかし乗って3分くらいでまた違うバスにうつされました。3台目でやっと出発しました。皆やはり疲れていたのか、バスで仮眠をとっていました。何時間か走っている間にバスのスピードが落ち、そして止まりました。運転手が降り、

なにかを直してまた動き出し、でも5分後にはまたスピードが落ち、とそれの繰り返しでした。幸い目的地がすぐそこだったので助かりました。

そしてキャンプ場につき男子宿舎へ。第一印象は物置小屋に無造作にポロポロのベッドが置いてある汚い部屋という感じでした。こんな所でもちゃんと寝られるか不安でしたが、すぐに慣れなせか居心地がよかったです。

キャンプでは日本人とアメリカ人だけではなくヨーロッパから来たこの派遣生と一緒に生活しました。ヨーロッパ人はとても開放的で明るく楽しかったです。またそのヨーロッパ人達とアーチェリーやカヌー、バレーやサッカーなどをして楽しみました。楽しすぎでこの1週間はあつという間でした。この別れで一生会えない人もいるんだらうなどと考えると悲しくなりました。

皆のホストファミリーはキャンプ場まで迎えに来てくれるのですが、僕のホストファミリーは家が遠かったためホストファミリーから家が近い人の家です。まことに、その人の家でDVDやTVなどをみて時間を潰していました。夜の11時過ぎくらいにベルがなり玄関には大きな人影。ホストファ

ミリーではないだろう、と思っていたのですがその人がホストファミリーでした。見た目は怖そうでしたが、とても陽気で優しい人でした。ホストファミリー1軒目はサンディエゴでした。日本人の女の子とイタリア人の男の子と一緒に滞在しました。サンディエゴでは遊園地、動物園、人体の不思議展、ショッピングやデイズニードにまで連れて行ってもらえました。どれもが楽しくまるでここが自分の家のように感じました。

二軒目はサンフランシスコ付近のミルピタスというところに滞在しました。この家庭では両親が忙しく、いつも13歳の息子と10歳の娘が僕の相手をしてくれました。この家の近くには絶叫マシンが沢山ある遊園地があり、2週間で3回も行きました。またサイクリング、テニス、ドッチボールなどをして楽しみました。



こうして振り返ってみると、色々な思い出が浮かび、そしてどれもとても内容の濃い5週間でした。現地での出会った人達、そして旅の仲間達は一生忘れないでしょう。このような貴重な経験をさせてくださった事にありがとうございます。

### ライオンズクラブ国際協会335-Cレオ地区

## スポーツ大会

2007年10月28日(日)

亀岡市立運動公園 体育館

両洋高校のメンバー多数を含むレオメンバー50名に、ライオンズクラブ6名で楽しく、スポーツを行いました。参加者全員楽しく、ルール・マナーを守って良い汗を流すことが出来ました☆地区行事として大きな活動の1つ目でしたが、今後の統一actに向けて躍進できたと思います。

▼障害物リレー  
ボール渡しや4人5脚を、チーム一丸となって頑張りました!!



▲今年話題になったピリーズブートキャンプで準備体操



▶ドッチボール  
ドッチボールで☆

L三木 奮闘!!



▲キャタピラリレー  
段ボールに入って  
ひたすらハイハイ(汗)

▶ボール運びリレー  
下に落とさないように!!



# CABINET

## 暴力・違法銃器追放京都府民大会

10月19日(金)・京都アールサ

ライオンズクラブ国際協会335-C地区1R~5Rで約1300人の方の登録があり、多数のライオンズの方にご参加頂き有り難うございました。

京都府警察音楽隊の演奏と、カラীগार्ド隊の演舞で始まり、開会の言葉として、暴追センター理事長・柏原康夫様のご挨拶、各ご来賓の方々のご挨拶及び、暴力追放功勞・近畿ブロック暴力追放功勞の表彰式がとり行われました。又、暴力団抗争を警戒中に組員と間違えられて射殺された京都府警巡査部長の奥様の手記の朗読は、



「違法銃器の追放」を力強く実践し、「安全で安心・快適に暮らせる京都府」の実現に向けて、府民一体となって邁進することを宣言

された。第二部では、元関西テレビアナウンサーの桑原征平氏による「いつまでもイキイキと豊かに暮らせるために」と題してユーモアを交えながら楽しい講演が行われました。

等、約700名程度でしたが、若い人達の参加が少なかつたのが、少し残念でした。

等、約700名程度でしたが、若い人達の参加が少なかつたのが、少し残念でした。

等、約700名程度でしたが、若い人達の参加が少なかつたのが、少し残念でした。

等、約700名程度でしたが、若い人達の参加が少なかつたのが、少し残念でした。

等、約700名程度でしたが、若い人達の参加が少なかつたのが、少し残念でした。

## 平成19年度麻薬・覚せい剤乱用防止運動 京都大会開催される

10月21日(日) 京都四条烏丸シルクホール

2007年10月21日(日)、例年行われているパレードに代わり、本

年は一般の方の参加を募り、四条烏丸シルクホールにて、午後1時半より掲題の通りの大会が開催されました。

当日は、橋本副地区ガバナーがライオンズクラブを代表して、開会宣言を行われました。

大会の内容は、薬物乱用防止の啓発の為に麻薬犬のデモン

大会の内容は、薬物乱用防止の啓発の為に麻薬犬のデモン

大会の内容は、薬物乱用防止の啓発の為に麻薬犬のデモン

大会の内容は、薬物乱用防止の啓発の為に麻薬犬のデモン

大会の内容は、薬物乱用防止の啓発の為に麻薬犬のデモン



大会の内容は、薬物乱用防止の啓発の為に麻薬犬のデモン

大会の内容は、薬物乱用防止の啓発の為に麻薬犬のデモン



大会の内容は、薬物乱用防止の啓発の為に麻薬犬のデモン

大会の内容は、薬物乱用防止の啓発の為に麻薬犬のデモン

大会の内容は、薬物乱用防止の啓発の為に麻薬犬のデモン

大会の内容は、薬物乱用防止の啓発の為に麻薬犬のデモン

## 335-C地区 環境保全セミナー 10月23日(火) リーガロイヤルホテル京都 2F「紅葉・松の間」 登録受付 13:00~13:45 セミナー 13:45~15:30

地区環境保全委員会のメインイベントである「環境保全セミナー」が地区ガバナー、副地区ガバナーはじめ、多数の地区役員、各クラブ環境問題担当メンバー約140名程の出席者を得て、賑々しく開催された。

講演に先立ち、葉原委員長より「近年地球規模での環境問題が多々問われ、未来ある次世代を担う子供達に、如何にして美しい地球環境を残すことが出来るのかを真摯に考えなくてはならない」との地区環境担当責任者としてのコメントがあった。

引き続き、地区ガバナーから「環境問題は、人類が生き延びる為の最重要課題である。例えば酸性雨による甚大な被害は世界各国に於いて報告されている。我がライオンズクラブにおいても、少しでもこの問題について対応できるような積極的に取り組んで行きたい」との力強い挨拶があった。

澤井敏郎氏による講演会では「植林における環境保全の影響」と題し、中国大陸と熱帯雨林での植林体験談を諸々の事例を取り上げられ、熱く語られた。中でも、中国内モンゴルでの荒沙漠地帯の緑化運動を推進された件では、実は砂漠には水があり不毛の地では無いとの認識を持たれ、緑化運動に弾みをつけられた。又、「こんなもの植えても、腹は膨れない！」との現地の人々の声に耳を傾けながらも「森を再生する考え方と大切さを如何に理解して貰えるかが

課題と捉え、植える文化を地道に植え付けて行きたい」又「広大な砂漠地帯にとつて、植林地は小さな点にすぎないが、その点が線に面になることを思い描き、植林運動を今後も息長く続けて行きたい！」との決意を語られた。講演後半ではスライドも放映され、参加したメンバー一同熱心に聞き入っておられ、有意義な環境保全セミナーであった。

文責 運営委員 畑 利和



# LCIFセミナー

11月15日(木)



ております。

以下、当日の講演から一般交付金の申請方法についての概略をまとめました。

## (1) 交付金の種類

A・①一般交付金②国際援助交付金③緊急援助交付金④大交付金(青少年、弱者救済、視力、健康)⑤大災害交付金⑥用途指定交付金⑦ファースト

B・視力ファースト

## (2) 一般交付金の基本的な交付条件

①人道主義的奉仕→その奉仕で困った人が助かりますか？

②事業の効果が永続的であること→一時的なイベントなどではないですか？

③クラブの関与は十分か→他団体への資金援助のような丸投げではないですか？

④クラブの関与は十分か→他団体への資金援助のような丸投げではないですか？

## (3) 一般交付金の申請のしかた

①2つ以上のクラブが申請でき、単一クラブよりも承認されやすい。

②事業予算の50%まで。上限は7万5千ドル(約825万円・11月20日現在)

③地区の申請枠は2件で、先行事業が完了しなければ枠が空かない。

④財団理事会の60日前が申請期限(事前にキャビネット会議の承認が必要)

④申請後の流れ

①申請が上記の基準に合っている場合は英訳されて、前例から見えて問題がないと判定されるとA分類に、検討が必要な場合はB分類とされます。

②A分類については一括承認されますが、B分類はさらに検討が加えられます。

③理事会で承認されると、連絡がキャビネットに届き、国際協会の東京事務所から振込の手続きがとられます。なお、日本案件については、拠出への貢献、過去に不適が少なくことから100%OKになるということになります。

⑤申請の動とところ

申請書の本文は、2ページで論理的に簡潔に記載します。英

# 全クラブ視力ファースト・献眼推進委員会長会議

11月20日(火)・リーガロイヤルホテル

11月20日、リーガロイヤルホテルにおいて、献眼推進委員長会議を開催しました。

ご多用の中、須藤ガバナリーはじめキャビネット役員、各クラブ担当委員長の皆様にご参加を頂きました。

視力ファースト運動の実践的、具体的な活動として、献眼運動の中核を担う「アイバンク愛の光基金管理協会」は、昨年25周年を迎えられました。この間、医科大学、行政機関との連携のもとに、

訳されるので、もって回ったような日本の表現は避けなければなりません。

以上、主な内容について記しましたが、一般交付金は人道主義的奉仕がキーワードで、青少年や、環境問題などは対象になりにくいことにご留意下さい。

なお、06、07年度における日本への交付金は、100万ドル(約1億2千万円)に達しています。

献眼奉仕の実践と啓発活動に大きな実績を残して来ました。

昨年度の献眼登録数は360名(うちライオンズメンバー60名)。角膜移植の実績は、40名で、70人の視力回復に貢献しているようですが、献眼運動は、その登録から実際に活用されるまでに多くが数年の長期にわたる息の長い事業です。また、家族や近親者の理解をも広げなければなりません。それだけにその運営は時代の波の影響

を受けながら関係者の情熱に支えられて今日に至っていることに、大いに理解と敬意を深めなければならぬと思います。

愛の光基金は、長期的な視野にたつて当時の2億円の基金をメンバーから集め、公益信託として維持し、その果実を運営にあててきました。先人の壮大な意図は今日なお燦然と輝いています。

今回の会議は、このような視力問題への情熱と課題を語り継ぐた

め、愛の光基金管理協会副理事長の宇田様(大津LCメンバー)に公益信託の現状と課題について。同管理会専務理事でありまた当委員会副委員長でもある山本皓一Lにご講演をお願いしました。

また、特別講師として、視力障害を自ら体験されて、快復後毎月1千ドルMJF基金を続けられる有野勇様(三木中央LC所属35LD地区CSFII委員長)をお招きいたしました。各講師ともに視力障害者への深い思いやりと情熱を我がものとして強力な実践を体現されており、そ

## CSF II 例会の開催を御願ひしています

CSF IIの運動は、2010年までに各クラブの達成時期が延長されました。

今年度委員会では、資金額の達成とモデルクラブ宣言100%を目指して活動をしていきます。11月末現在において、基金拠出については500ドル基準を達成できる見通しです。

この上はモデルクラブ宣言100%の達成により地区内全ク

ラブの力を合わせての実現を目指していきます。現在最後の行動計画として、CSF II例会によりキャンペーン趣旨のご理解を深めていただくことを目指していきます。視力ファーストとは何か、なぜCSF IIなのか、ぜひCSF II例会でその意義を語り合いたし

なお現在CSF II例会の開催また計画

中のクラブは、すでに33%に達しました。未計画のクラブはぜひ年度内の開催を御願ひいたします。

また、モデルクラブ宣言クラブも、順調に拡大しており、100%達成にもう一步の状況になっています。各クラブの事情や状況に合った形での取り組みをお願いいたしますので、ご協力をお願いします。

## ゴルフキャップを無償提供

CSF II・LCIF・視力ファースト・献眼推進委員会では、CSF IIゴルフキャップを無償提供しています。チャリティゴルフコンペの記念品にご活用下さい。お申し込みは事務局へどうぞ。



のお言葉の一つ一つが参加者の胸に響くお話を頂戴しました。素晴らしいセミナーになったことと思います。ありがとうございます。

# 第2回キャビネット会議

11月13日(火)

リーガロイヤルホテル京都



第2回キャビネット会議がリーガロイヤルホテル京都に於いて開催された。定

議事項に移り、すべての議事が承認された。ただしガバナール須藤よりアマラスリヤ国際会長書簡(配偶者会員招請のための行動指

刻14:00地区幹事小林の進行により開始されガバナール須藤の挨拶の後、33の複合地区報告、準地区報告がなされた後審(針)推進に対して日本での受け入れには、まだ大きな諸問題を335複合地区での協議が必要であるとの提言がなされた。引き続き各委員長よりお願いとお礼を述べられ定刻16:00に終了となった。今回第2回は、キャビネット構成員のみの会議で行なわれた。  
PR・情報・IT委員会



# 2007年度冬期YE来日学生 ホストファミリー・オリエンテーション

11月30日(金) リーガロイヤルホテル

2007年11月30日(金) 14時からリーガロイヤルホテル「堀川の間」にて2007年度冬期YE来日学生ホストファミリー・オリエンテーションが開催されました。今月12月5日から順に

ア、オーストラリア、ニュージーランド、シンガポールの4カ国、15歳から21歳までの元気ある若者6人を受け入れて下さいます地区キャビネット幹事小林孝治をはじめとするホストファミリー9家族の皆様、8クラブの

またゲストに、宇治LCの佐原勤をお招きしてのホストファミリー体験談のお話が順になされ、参加者の皆様はペンを片手に真剣な表情でお聞きになられており、最後の質疑応答では、様々な質問

が飛び交っていました。約2週間から1カ月滞在する来日学生。心温まるホストファミリーの皆様と過ごす時間は、学生たちにとって一生忘れることの出来ない思い出になることと確信



地区YE委員会

# 第17回京都広告賞

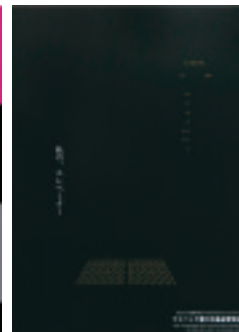
## アイバンクポスターグランプリ受賞!



銀賞



金賞



グランプリ賞



佳作

募の中からアイバンクポスターがグランプリを受賞、そ

アイバンク愛 会では、アイバンク事業推進のため第17回京都広告賞に協賛し、アイバンク啓発ポスターを広く公募しました。新聞、ラジオ、テレビ、ポスター、部門約600点の応募の中からアイバンクポスターがグランプリを受賞、その他ポスター部門でも金銀佳作の3作品が受賞。今後、若い方にもアイバンク活動に関心を持って頂けるよう、アピールできればと思います。  
第17回京都広告賞展  
2007年11月28日(土)・29日(日)  
新風館3Fギャラリー  
表彰式  
2007年11月28日  
京都新聞文化ホール



2007年9月26日(水) 京都うずら野LC CN25周年



2007年10月23日(火) 京都華頂LC 結成35周年



2007年9月23日(日・祝) 奈良セントラルLC CN30周年

記念例会  
おめでとう  
ございます